



Cisco DCNM のアップグレード

この章では、Cisco DCNM のアップグレードについて説明します。次の項を含みます。

- [Cisco DCNM リリース 11.5\(1\) へのアップグレード, on page 1](#)
- [CA 署名済み証明書の保持, on page 2](#)
- [リリース 11.4\(1\) から 11.5\(1\) へのリリース 11.5\(1\) から 11.5\(4\) \(4 ページ\)](#)
- [Linux 上の Cisco SAN のリリース 11.4\(1\) から 11.5\(1\)、11.5\(アップグレード \(9 ページ\)](#)
- [Windows および Linux 展開で Cisco DCNM SAN 11.2\(1\) または 11.3\(1\) から 11.5\(1\) へアップグレードする \(14 ページ\)](#)
- [OVA/ISO での Cisco SAN へのアップグレード \(20 ページ\)](#)
- [パフォーマンス マネージャ データをドロップする, on page 32](#)

Cisco DCNM リリース 11.5(1) へのアップグレード

Cisco DCNM リリース 11.0(1) より前に、DCNM OVA、および ISO は SAN 機能をサポートしていません。Cisco DCNM リリース 11.3(1) 以降では、OVA と ISO 仮想アプライアンスの両方に SAN 展開用の Cisco DCNM をインストールできます。

次の表は、リリース 11.5(1) にアップグレードするために従う必要があるアップグレードのタイプをまとめたものです。

Table 1: Cisco DCNM SAN 展開のアップグレードのタイプ

現在のリリース番号	リリース 11.5(1) にアップグレードするアップグレードタイプ
11.4(1)	Windows 向け：インラインアップグレード Linux向け：インラインアップグレード OVA/ISO の場合：インラインアップグレード
11.3(1)	Windows 向け：インラインアップグレード Linux向け：インラインアップグレード OVA/ISO の場合：インラインアップグレード

現在のリリース番号	リリース 11.5(1) にアップグレードするアップグレードタイプ
11.2(1)	<p>Windows 向け：インラインアップグレード</p> <p>Linux向け：インラインアップグレード</p> <p>OVA\ISO 向け：</p> <ol style="list-style-type: none"> 新しい 11.3(1) SAN のみのインストール。 11.3(1) へのパフォーマンス マネージャの収集の移行 <p>Note 古いパフォーマンス マネージャ データは、11.3(1) の既存のパフォーマンス マネージャ データを置き換えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 11.5(1) へのインラインアップグレード
11.1 (1)	<p>Windows の場合：11.1(1) → 11.4(1) → 11.5(1)</p> <p>Linux の場合：11.1(1) → 11.4(1) → 11.5(1)</p> <p>OVA\ISO 向け：</p> <ol style="list-style-type: none"> 新しい 11.3(1) SAN のみのインストール。 11.3(1) へのパフォーマンス マネージャの収集の移行。 <p>Note 古いパフォーマンス マネージャ データは、11.3(1) の既存のパフォーマンス マネージャ データを置き換えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 11.5(1) へのインラインアップグレード

CA 署名済み証明書の保持

アップグレード後に CA 署名付き SSL 証明書を保持する必要がある場合は、次の手順を実行します。

3 ノードフェデレーションセットアップを構成し、外部 CA 証明書を適用する場合は、次の手順を実行します。

- フェデレーションの DCNM サーバを停止します。
 - Windows の場合：C:\Program Files\cisco それ Systems\dcm\dcnm\bin に移動します。StopLANSANServer.bat をダブルクリックして、サービスを停止します。

- Linux の場合 : /root へのログオンします。/root/Stop_DCNM_Servers コマンドを使用して、サービスを停止します。
2. プライマリ サーバの CA 証明書を生成し、同じ CA 証明書を 3 つのセカンダリ サーバに適用します。
 3. 最初にプライマリ サーバを起動し、次にフェデレーションでセカンダリ サーバを起動します。

キーストアのパスワードまたはエイリアスを変更する場合は、次の場所にある **standalone-san** ドキュメントで更新する必要があることに注意してください。

```
< DCNM_install_root >
\dcm\wildfly-14.0.1.Final\standalone\configuration\standalone-san.xml
```

keystore タグとエイリアスのパスワードを更新します。

```
<keystore key-password>="<<storepass-pwd>> key-alias="updated-key-alias"
keystore-password="updated-password"
path="<DCNM_install_root>\dcm\wildfly-14.0.1.Final\standalone\configuration\fmserver.jks">
```



Note <<storepass-pwd>> は、DCNM サーバのインストール時に生成されるパスワード文字列です。この文字列は <install_dir>/dcm/fm/conf/serverstore.properties ディレクトリにあります。storepass-pwd の dcnm.fmserver.token 値を取得します。

Procedure

ステップ 1 次の場所から署名付き証明書をバックアップします。

- Windows の場合 :
<DCNM_install_root>\dcm\wildfly-14.0.1.Final\standalone\configuration\fmserver.jks
- Linux の場合 :
<DCNM_install_root>/dcm/wildfly-14.0.1.Final/standalone/configuration/fmserver.jks

ステップ 2 Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレードします。

ステップ 3 アップグレード後、Cisco DCNM のアップグレードされたバージョンと同じ場所に証明書をコピーします。

Note [ステップ 1, on page 3](#) に記載されているのと同じ場所に証明書をロードする必要があります。

ステップ 4 DCNM サービスを再起動します。

リリース 11.4(1) から 11.5(1) へのリリース 11.5(1) から 11.5(4)

ここでは、Windows の Cisco DCNM SAN を最新バージョンにアップグレードする手順について説明します。

GUI を使用した Cisco DCNM Linux のアップグレード

Before you begin

- Cisco DCNM 11.4(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントとデバイス マネージャのすべてのインスタンスを閉じます。
- Windows の DCNM SAN 展開の場合、DCNM アップグレード中は常にすべてのウイルス対策ソフトウェアを無効にします。ウイルス対策ソフトウェアが DCNM アップグレードプロセスをブロックする場合があります。

Procedure

ステップ 1 DCNM サービスを停止します。

- Windows の場合 : C:\Program Files\cisco それ Systems\dcm\dcnm\bin に移動します。StopLANSANServer.bat をダブルクリックして、サービスを停止します。
- Linux の場合 : /root へのログオンします。/root/Stop_DCNM_Servers コマンドを使用して、サービスを停止します。

Note DCNM サービスが停止すると、Elasticsearch も停止します。ElasticSearch サービスを再開する必要があります。

- Windows の場合 – Windows サーバーでタスク マネージャを起動します。[サービス (Services)] タブを選択します。Elasticsearch アプリケーションを選択します。アプリケーションを右クリックし、[開始] を選択します。
- Linux の場合 – **service elasticsearch start** コマンドを実行します。

ステップ 2 リリース 11.5(1) 実行ファイルの Cisco DCNM ソフトウェアを実行します。

次のメッセージが表示されます。

```
Please close the DCNM Installation wizard gracefully using "Done" option on last installation step and wait for the installation wizard to close automatically. Do not restart the system or forcefully terminate the Installation wizard while it is still in progress."
```

[OK] をクリックして作業を続行します。

ステップ 3 [OK] をクリックして、アップグレードを開始します。

ステップ 4 アップグレードが完了したら、[完了 (Done)] をクリックします。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは自動的に開始されます。

GUI を使用した Cisco DCNM Windows フェデレーションのアップグレード



Note プライマリとセカンダリの両方のデータベース プロパティが同じであることを確認します。

Before you begin

- Cisco DCNM 11.4(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントとデバイス マネージャのすべてのインスタンスを閉じます。
- Windows の DCNM SAN 展開の場合、DCNM アップグレード中は常にすべてのウイルス対策ソフトウェアを無効にします。ウイルス対策ソフトウェアが DCNM アップグレードプロセスをブロックする場合があります。

Procedure

ステップ 1 プライマリおよびセカンダリ DCNM サービスの両方を停止します。

Note Elasticsearch サービスが実行されていることを確認します。

ステップ 2 プライマリ サーバーで、Cisco DCNM リリース 11.5(1) 実行ファイルを実行します。

アップグレード通知ウィンドウが表示されます。

次のメッセージが表示されます。

Please close the DCNM Installation wizard gracefully using "Done" option on last installation step and wait for the installation wizard to close automatically. Do not restart the system or forcefully terminate the Installation wizard while it is still in progress."

[OK] をクリックして作業を続行します。

ステップ 3 [OK] をクリックして、アップグレードを開始します。

ステップ 4 プライマリ サーバでアップグレードが完了したら、**[完了 (Done)]** をクリックします。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、プライマリ サーバで自動的に開始します。

ステップ 5 セカンダリ サーバで、Cisco DCNM リリース 11.5(1) 実行ファイルを実行します。

アップグレード通知ウィンドウが表示されます。

次のメッセージが表示されます。

```
Please close the DCNM Installation wizard gracefully using "Done" option
on last installation step and wait for the installation wizard to close automatically.
Do not restart the system or forcefully terminate the Installation wizard while it is
still in progress."
```

[OK] をクリックして作業を続行します。

ステップ 6 [OK] をクリックして、アップグレードを開始します。

ステップ 7 セカンダリ サーバでアップグレードが完了したら、**[完了 (Done)]** をクリックします。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、セカンダリ サーバで自動的に開始されます。

サイレントインストールを通して Cisco DCNM Windows をアップグレードする



Note Cisco DCNM は、リモート認証モードではなく、ローカル認証モードでのみサイレントインストールおよびアップグレードをサポートしています。

Before you begin

- Cisco DCNM 11.4(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントとデバイス マネージャのすべてのインスタンスを閉じます。
- Windows の DCNM SAN 展開の場合、DCNM アップグレード中は常にすべてのウイルス対策ソフトウェアを無効にします。ウイルス対策ソフトウェアが DCNM アップグレードプロセスをブロックする場合があります。

Procedure

ステップ 1 DCNM サービスを停止します。

ステップ 2 インストーラのプロパティ ファイルを開き、次のプロパティを更新します。

```
INSTALLATION_TYPE=UPGRADE
USE_EXISTING_DB=TRUE

ORA_DB_PATH=C:\oracle\app\oracle\product\10.2.0\server
#-----Use Existing Oracle-----
DCNM_DB_URL=jdbc\:oracle\:thin\:@<ip_address_of_oracle_machine>:1521:XE
DCNM_DB_NAME=XE
SELECTED_DATABASE=oracle
DCNM_DB_USERNAME=oracledbadmin1
DCNM_DB_USER_PASSWORD=oracledbadmin1
```

ステップ 3 Cisco DCNM ソフトウェアをダウンロードしたディレクトリに移動し、次のコマンドを使用して適切なインストーラを実行します。

```
dcnm-release.exe -i silent -f <path_of_installer.properties>
```

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、アップグレードが完了した後に開始します。

タスク マネージャ プロセスでアップグレードのステータスを確認できます。

サイレントインストールを通して Cisco DCNM Windows フェデレーションをアップグレードする



Note Cisco DCNM は、リモート認証モードではなく、ローカル認証モードでのみサイレントインストールおよびアップグレードをサポートしています。



Note プライマリとセカンダリの両方のデータベース プロパティが同じであることを確認します。

Before you begin

- Cisco DCNM 11.4(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントとデバイス マネージャのすべてのインスタンスを閉じます。
- Windows の DCNM SAN 展開の場合、DCNM アップグレード中は常にすべてのウイルス対策ソフトウェアを無効にします。ウイルス対策ソフトウェアが DCNM アップグレードプロセスをブロックする場合があります。

Procedure

ステップ 1 プライマリおよびセカンダリ DCNM サービスの両方を停止します。

ステップ 2 プライマリ サーバで、`installer.properties` ファイルを開き、次のプロパティを更新します。

```
INSTALLATION_TYPE=UPGRADE
USE_EXISTING_DB=TRUE
```

ステップ 3 Cisco DCNM ソフトウェアをダウンロードしたディレクトリに移動し、次のコマンドを使用して適切なインストーラを実行します。

```
dcnm-release.exe -i silent -f <path_of_installer.properties>
```

タスク マネージャ プロセスでアップグレードのステータスを確認できます。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、プライマリ サーバーで自動的に開始します。

ステップ 4 セカンダリ サーバで、`installer.properties` ファイルを開き、次のプロパティを更新します。

```
INSTALLATION_TYPE=UPGRADE
USE_EXISTING_DB=TRUE

ORA_DB_PATH=C:\oracle\app\oracle\product\10.2.0\server
#-----Use Existing Oracle-----
DCNM_DB_URL=jdbc\:oracle\:thin\:@<ip_address_of_oracle_machine>:1521\:XE
DCNM_DB_NAME=XE
SELECTED_DATABASE=oracle
DCNM_DB_USERNAME=oracledbadmin1
DCNM_DB_USER_PASSWORD=oracledbadmin1
```

ステップ 5 Cisco DCNM ソフトウェアをダウンロードしたディレクトリに移動し、次のコマンドを使用して適切なインストーラを実行します。

```
dcnm-release.exe -i silent -f <path_of_installer.properties>
```

タスク マネージャ プロセスでアップグレードのステータスを確認できます。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、セカンダリ サーバーで自動的に開始されます。

Elasticsearch スキーマが変更された場合の Cisco DCNM Windows フェデレーションのアップグレード

始める前に

フェデレーション設定で2つのノードでElasticsearchが実行されていることを確認します。

手順

ステップ 1 DCNM サービスを停止します。

- Windows の場合 : C:\Program Files\cisco それ Systems\dcm\dcnm\bin に移動します。StopLANSANServer.bat をダブルクリックして、サービスを停止します。

- Linux の場合：/root へのログオンします。/root/Stop_DCNM_Servers コマンドを使用して、サービスを停止します。

ステップ 2 プライマリ サーバを最初にアップグレードし、次にフェデレーションセットアップのセカンダリ サーバをアップグレードします。この説明については、[サイレントインストールを通して Cisco DCNM Windows フェデレーションをアップグレードする \(7 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 3 DCNM サービスを開始します。

Linux 上の Cisco SAN のリリース 11.4(1) から 11.5(1)、11.5(アップグレード)

ここでは、Linux の Cisco DCNM SAN を最新バージョンにアップグレードする手順について説明します。

GUI を使用した Cisco DCNM Linux のアップグレード

Before you begin

- Cisco DCNM 11.4(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントとデバイス マネージャのすべてのインスタンスを閉じます。

Procedure

ステップ 1 DCNM サービスを停止します。

Note Elasticsearch サービスが実行されていることを確認します。

ステップ 2 リリース 11.5(1) 実行ファイルの Cisco DCNM ソフトウェアを実行します。

アップグレード通知ウィンドウが表示されます

ステップ 3 **[OK]** をクリックして、アップグレードを開始します。

次のメッセージが表示されます。

```
Please close the DCNM Installation wizard gracefully using "Done" option on last installation step and wait for the installation wizard to close automatically. Do not restart the system or forcefully terminate the Installation wizard while it is still in progress."
```

[OK] をクリックして作業を続行します。

ステップ 4 アップグレードが完了したら、[完了 (Done)] をクリックします。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは自動的に開始されます。

What to do next

Linux スタンドアロン サーバで Cisco DCNM リリース 11.2(1) からアップグレードした後は、Web UI を起動して SAN クライアントをダウンロードする前に、ブラウザのキャッシュと Java コンソール キャッシュを消去していることを確認してください。Java コンソールには、以前のバージョンの SAN クライアントデータが記憶されています。Java コンソール キャッシュを消去しないと、ダウンロードした最新の SAN クライアントを使用できなくなります。

GUI を使用した Cisco DCNM Linux フェデレーションのアップグレード



Note プライマリとセカンダリの両方のデータベース プロパティが同じであることを確認します。

Before you begin

- Cisco DCNM 11.4(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントとデバイス マネージャのすべてのインスタンスを閉じます。

Procedure

ステップ 1 プライマリおよびセカンダリ DCNM サービスの両方を停止します。

Note Elasticsearch サービスが実行されていることを確認します。

ステップ 2 プライマリ サーバーで、Cisco DCNM リリース 11.5(1) 実行ファイルを実行します。

アップグレード通知ウィンドウが表示されます。

次のメッセージが表示されます。

```
Please close the DCNM Installation wizard gracefully using "Done" option
on last installation step and wait for the installation wizard to close automatically.
Do not restart the system or forcefully terminate the Installation wizard while it is
still in progress."
```

[OK] をクリックして作業を続行します。

ステップ3 [OK] をクリックして、アップグレードを開始します。

ステップ4 プライマリ サーバでアップグレードが完了したら、[完了 (Done)] をクリックします。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、プライマリ サーバーで自動的に開始します。

ステップ5 セカンダリ サーバーで、Cisco DCNM リリース 11.5(1) 実行ファイルを実行します。

アップグレード通知ウィンドウが表示されます。

次のメッセージが表示されます。

```
Please close the DCNM Installation wizard gracefully using "Done" option on last installation step and wait for the installation wizard to close automatically. Do not restart the system or forcefully terminate the Installation wizard while it is still in progress."
```

[OK] をクリックして作業を続行します。

ステップ6 [OK] をクリックして、アップグレードを開始します。

ステップ7 セカンダリ サーバでアップグレードが完了したら、[完了 (Done)] をクリックします。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、セカンダリ サーバーで自動的に開始されます。

サイレントインストールを通して Cisco DCNM Linux をアップグレードする

**Note**

Cisco DCNM は、リモート認証モードではなく、ローカル認証モードでのみサイレントインストールおよびアップグレードをサポートしています。

**Note**

既存の DCNM セットアップの場合と同じように、リリース 11.5(1) には同じデータベースを使用する必要があります。

Before you begin

- Cisco DCNM 11.4(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントとデバイス マネージャのすべてのインスタンスを閉じます。

Procedure

ステップ 1 DCNM サービスを停止します。

ステップ 2 `installer.properties` ファイルを開き、次のプロパティを更新します。

```
INSTALLATION_TYPE=UPGRADE
USE_EXISTING_DB=TRUE
```

ステップ 3 Cisco DCNM ソフトウェアをダウンロードしたディレクトリに移動し、次のコマンドを使用して適切なインストーラを実行します。

```
dcnm-release.bin -i silent -f <path_of_installer.properties>
```

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、アップグレードが完了した後に開始します。

コマンド `ps -ef | grep 'LAX'` を使用して、アップグレードプロセスのステータスを確認できます。サイレントインストールが完了すると、プロンプトが返されます。

サイレントインストールを通して Cisco DCNM Linux フェデレーションをアップグレードする



Note Cisco DCNM は、リモート認証モードではなく、ローカル認証モードでのみサイレントインストールおよびアップグレードをサポートしています。



Note プライマリとセカンダリの両方のデータベース プロパティが、以前のリリース セットアップと同じであることを確認します。

Before you begin

- Cisco DCNM 11.4(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントとデバイス マネージャのすべてのインスタンスを閉じます。

Procedure

ステップ 1 プライマリおよびセカンダリ DCNM サービスの両方を停止します。

ステップ 2 プライマリ サーバで、`installer.properties` ファイルを開き、次のプロパティを更新します。

```
INSTALLATION_TYPE=UPGRADE  
USE_EXISTING_DB=TRUE
```

ステップ 3 Cisco DCNM ソフトウェアをダウンロードしたディレクトリに移動し、次のコマンドを使用して適切なインストーラを実行します。

```
dcnm-release.bin -i silent -f <path_of_installer.properties>
```

コマンド `ps -ef | grep 'LAX'` を使用して、アップグレードプロセスのステータスを確認できます。サイレントインストールが完了すると、プロンプトが返されます。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、プライマリ サーバーで自動的に開始します。

ステップ 4 プライマリ サーバで、アップグレードが完了したら、**Done** をクリックします。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、プライマリ サーバーで自動的に開始します。

ステップ 5 セカンダリ サーバで、`installer.properties` ファイルを開き、次のプロパティを更新します。

```
INSTALLATION_TYPE=UPGRADE  
USE_EXISTING_DB=TRUE
```

ステップ 6 Cisco DCNM ソフトウェアをダウンロードしたディレクトリに移動し、次のコマンドを使用して適切なインストーラを実行します。

```
dcnm-release.bin -i silent -f <path_of_installer.properties>
```

コマンド `ps -ef | grep 'LAX'` を使用して、アップグレードプロセスのステータスを確認できます。サイレントインストールが完了すると、プロンプトが返されます。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、セカンダリ サーバーで自動的に開始されます。

Elasticsearch スキーマが変更された場合の Cisco DCNM Linux フェデレーションのアップグレード

始める前に

フェデレーション設定で 2 つのノードで Elasticsearch が実行されていることを確認します。

手順

ステップ 1 DCNM サービスを停止します。

- Windows の場合 : `C:\Program Files\cisco` それ `Systems\dcm\dcnm\bin` に移動します。 `StopLANSANServer.bat` をダブルクリックして、サービスを停止します。

- Linux の場合：/root へのログオンします。/root/Stop_DCNM_Servers コマンドを使用して、サービスを停止します。

ステップ 2 プライマリ サーバを最初にアップグレードし、次にフェデレーションセットアップのセカンダリ サーバをアップグレードします。この説明については、[サイレントインストールを通して Cisco DCNM Linux フェデレーションをアップグレードする \(12 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 3 DCNM サービスを開始します。

Windows および Linux 展開で Cisco DCNM SAN 11.2(1) または 11.3(1) から 11.5(1) へアップグレードする

ここでは、次の内容について説明します。



- (注) Elasticsearch がアップグレードに互換性がない場合、リリース 11.5(1) にアップグレードする前に、パフォーマンス マネージャ データを再インデックス化する必要があります。リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

GUI を使用した Cisco DCNM のリリース 11.2(1) または 11.3(1) から 11.5(1) へのアップグレード

11.2(1) および 11.3(1) でサポートされている Elasticsearch バージョンは、11.5(1) でサポートされている Elasticsearch と互換性がないため、リリース 11.5(1) にアップグレードする前に Elasticsearch データのインデックスを再作成する必要があります。

アップグレード スクリプトは、Elasticsearch の現在のバージョンがアップグレードに互換性があるかどうかを確認します。互換性がない場合、アップグレードプロセスが停止します。アップグレード スクリプトを実行する場合、互換性のないパフォーマンス データが発生したときにアップグレードプロセスが終了します。データを再インデックス化して、アップグレードを続行します。

既存の Elasticsearch データベースが 250GB を超える場合、Cisco DCNM サーバは、再インデックス作成を完了するために 500GB を超える HDD スペースを必要とします。

11.2(1) または 11.3(1) からリリース 11.5(1) へ Cisco DCNM Windows/Linux をアップグレードするには、以下の手順を実行します。

Before you begin

- DCNM 11.2(1) または 11.3(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
Elasticsearch サービスは、フェデレーションセットアップのすべてのノードで動作する必要があります。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントとデバイス マネージャのすべてのインスタンスを閉じます。
- Windows の DCNM SAN 展開の場合、DCNM アップグレード中は常にすべてのウイルス対策ソフトウェアを無効にします。ウイルス対策ソフトウェアが DCNM アップグレードプロセスをブロックする場合があります。

フェデレーションセットアップに加えて、次の順番でアップグレードを実行します。

1. プライマリ ノードをアップグレードします。
サービスを開始します。プライマリ ノード PM データを再インデックス化します。
2. セカンダリ ノードをアップグレードします。
サービスを開始します。
3. 3 番目のノードをアップグレードします。
サービスを開始します。

Procedure

ステップ 1 DCNM サービスを停止します。

Note Elasticsearch サービスが実行されていることを確認します。

フェデレーションセットアップについては、アップグレードを続行するため Elasticsearch がすべてのノードで稼働していることを確認します。

ステップ 2 リリース 11.5(1) の実行可能ファイルの Cisco DCNM ソフトウェアを実行します。

次のメッセージが表示されます。

```
Please close the DCNM Installation wizard gracefully using "Done" option on last installation step and wait for the installation wizard to close automatically. Do not restart the system or forcefully terminate the Installation wizard while it is still in progress."
```

[OK] をクリックして作業を続行します。

ステップ 3 [OK] をクリックして、アップグレードを開始します。

インストーラは、Elasticsearch がアップグレード可能かどうかを確認します。

- Elasticsearch にアップグレードの互換性がない場合、次のエラーメッセージが生成されます。

Elasticsearch indices need manual reindexing

Some Elastic Search indices are created with ES version 2.3.
Please reindex these manually and proceed with upgrade.
Reindexing package can be downloaded from CCO. DCNM Installer will now quit.

プロセスを中止するには、**[OK]** をクリックします。

PMDB データを再インデックス化して、アップグレードを開始します。

Note Elasticsearch がアップグレードに互換性がない場合、リリース 11.5(1) にアップグレードする前に、パフォーマンス マネージャ データを再インデックス化する必要があります。リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

- Elasticsearch アップグレードに互換性がある場合、または Elasticsearch の再インデックス化を完了した場合、プロセスが続行します。

Elasticsearch は、リリース 11.5(1) への DCNM アップグレードの一部としてもアップグレードされます。アップグレードが完了すると、古い PMDB データの再インデックス化に関するメッセージが生成されます。

PM DB manual reindexing

PMDB Elastic Search index needs to be reindexed manually using the scripts under INSTALL_DIR/dcnm/dcnm/fm/reindexes/esmapping.
The old PMDB data will be available after reindexing.

ステップ 4 アップグレードが完了したら、**[完了 (Done)]** をクリックします。

次のメッセージが生成されます。

Elasticsearch(ES) indices for historical Performance Monitoring (PM) data need to be reindexed manually.
Check DCNM installation and upgrade guide for more details.

ステップ 5 **[OK]** をクリックします。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは自動的に開始されます。

Note アップグレードプロセスでは PMDB データを再インデックス化しません。このタスクを手動で実行する必要があります。リリース 11.5(1) で以前のバージョンの PMDB データが必要な場合、データを手動で再インデックス化する必要があります。PMDB データを手動で再インデックス化する手順については、[アップグレード後に DCNM SAN リリース 11.5\(1\) に PMDB を再インデックス化する, on page 19](#) を参照してください。

サイレントインストールを通して Cisco DCNM をリリース 11.2(1) または 11.3(1) から 11.5(1) へアップグレードする

11.2(1) および 11.3(1) でサポートされている Elasticsearch バージョンは、11.5(1) でサポートされている Elasticsearch と互換性がないため、リリース 11.5(1) にアップグレードする前に Elasticsearch データのインデックスを再作成する必要があります。

アップグレードスクリプトは、Elasticsearch の現在のバージョンがアップグレードに互換性があるかどうかを確認します。互換性がない場合、アップグレードプロセスが停止します。アップグレードスクリプトを実行する場合、互換性のないパフォーマンス データが発生したときにアップグレードプロセスが終了します。データを再インデックス化して、アップグレードを続行します。

既存の Elasticsearch データベースが 250GB を超える場合、Cisco DCNM サーバは、再インデックス作成を完了するために 500GB を超える HDD スペースを必要とします。

11.2(1) または 11.3(1) からリリース 11.5(1) へ Cisco DCNM Windows/Linux をアップグレードするには、以下の手順を実行します。

Before you begin

- DCNM 11.2(1) または 11.3(1) が稼働していることを確認します。
- Elasticsearch サービスが使用可能であることを確認してください。
- アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントのすべてのインスタンス (SAN クライアントとデバイス マネージャの両方) を閉じます。
- Windows の DCNM SAN 展開の場合、DCNM アップグレード中は常にすべてのウイルス対策ソフトウェアを無効にします。ウイルス対策ソフトウェアが DCNM アップグレードプロセスをブロックする場合があります。

フェデレーションセットアップに加えて、次の順番でアップグレードを実行します。

1. プライマリ ノードをアップグレードします。
サービスを開始します。プライマリ ノード PM データを再インデックス化します。
2. セカンダリ ノードをアップグレードします。
サービスを開始します。
3. 3 番目のノードをアップグレードします。
サービスを開始します。

Procedure

ステップ 1 DCNM サービスを停止します。

Note Elasticsearch サービスが実行されていることを確認します。

フェデレーションセットアップについては、アップグレードを続行するため Elasticsearch がすべてのノードで稼働していることを確認します。

ステップ 2 インストーラのプロパティ ファイルを開き、次のプロパティを更新します。

```
INSTALLATION_TYPE=UPGRADE
USE_EXISTING_DB=TRUE
```

ステップ 3 Cisco DCNM ソフトウェアをダウンロードしたディレクトリに移動し、次のコマンドを使用して適切なインストーラを実行します。

```
dcnm-release.exe -i silent -f <path_of_installer.properties>
```

Elasticsearch にアップグレードの互換性がない場合、アップグレードは停止します。

error.properties ファイルにエラー メッセージが生成されます。PMDB データを再インデックス化して、アップグレードを開始します。

Note Elasticsearch がアップグレードに互換性がない場合、リリース 11.5(1) にアップグレードする前に、パフォーマンス マネージャ データを再インデックス化する必要があります。リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

Elasticsearch アップグレードに互換性がある場合、または Elasticsearch の再インデックス化を完了した場合、プロセスが続行します。

What to do next

Cisco DCNM リリース 11.5(1) サービスは、アップグレードの完了後に開始されます。タスク マネージャ プロセスでアップグレードのステータスを確認できます。

PMDB を再インデックス化するメッセージは、**dcnm_installer.log** ファイルに生成されます。



Note アップグレードプロセスでは PMDB データを再インデックス化しません。このタスクを手動で実行する必要があります。リリース 11.5(1) で以前のバージョンの PMDB データが必要な場合、データを手動で再インデックス化する必要があります。PMDB データを手動で再インデックス化する手順については、[アップグレード後に DCNM SAN リリース 11.5\(1\) に PMDB を再インデックス化する, on page 19](#) を参照してください。

次のメッセージが **dcnm_installer.log** ファイルに含まれています。

```
Elasticsearch(ES) indices for historical Performance Monitoring (PM)
data need to be reindexed manually.
Check DCNM installation and upgrade guide for more details.
```

アップグレード後に DCNM SAN リリース 11.5(1) に PMDB を再インデックス化する

Elasticsearch がアップグレードに互換性がない場合、リリース 11.5(1) にアップグレードする前に、パフォーマンス マネージャ データを再インデックス化する必要があります。パフォーマンス マネージャ データのインデックスを再作成するには、次のタスクを実行します。

既存の Elasticsearch データベースが 250GB を超える場合、Cisco DCNM サーバは、再インデックス作成を完了するために 500GB を超える HDD スペースを必要とします。

始める前に

DCNM リリース 11.2(1) または 11.3(1) からリリース 11.5(1) にアップグレードした後に、古い PM データベース インデックスを削除する必要があります。

リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

手順

ステップ 1 esmapping ディレクトリに移動し、次のスクリプトを見つけます。

Windows 上の DCNM の場合：

- ReindexPMDBCurl.bat
- DeletePMDBIndexCurl.bat

(注) Windows のインストールには、curl ユーティリティが必要な場合があります。curl ユーティリティをインストールしてください。zip ファイルは、/esmapping ディレクトリに **curl-win64.zip** として提供されます。

Linux 上の DCNM の場合：

- ReindexPMDBCurl.sh
- DeletePMDBIndexCurl.sh

リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

ステップ 2 Windows の DCNM の場合は **ReindexPMDBCurl.bat** スクリプトを、Linux の場合は DCNM の **ReindexPMDBCurl.sh** スクリプトを実行します。

スクリプトの実行中にエラーが表示されないことを確認します。スクリプトからの出力をファイルに収集し、すべてのファイルのインデックスが再作成されていることを確認します。

PmdbReindex.log ファイルが PMDB 再インデックス化スクリプトに生成されます。

OVA/ISO での Cisco SAN へのアップグレード

リリース 11.3(1) から、OVA/ISO に Cisco DCNM SAN をインストールできます。ただし、以前のリリースの DCNM をリリース 11.3(1) に移行することはできません。代わりに、OVA または ISO で SAN 用 Cisco DCNM の新規インストールを実行し、Performance Manager データを古いバージョンからインポートします。



(注) アップグレードを開始する前に、サーバで稼働している DCNM SAN クライアントのすべてのインスタンス (SAN クライアントとデバイス マネージャの両方) を閉じます。

手順については、スタンドアロンモードでの DCNM 仮想アプライアンスのインラインアップグレードのセクションを参照してください。

PM データの移行

OVA/ISO の DCNM SAN へのアップグレードパスはありません。ただし、Cisco DCNM 11.3(1) の新規インストールでは、次のリリースから Performance Manager データを移行することができます。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレードするには、次のアップグレードパスを使用します。

- インラインアップグレードを使用した 11.4(1) から 11.5(1) へのアップグレード
- インラインアップグレードを使用した 11.3(1) から 11.5(1) へのアップグレード
- インラインアップグレードを使用した 11.3(1) から 11.4(1) へのアップグレード
- 11.2(1) SAN から 11.3(1) SAN OVA/ISO
- 11.1(1) SAN から 11.3(1) SAN OVA/ISO
- 10.4(2) SAN OVA から 11.3(1) SAN OVA/ISO

リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。



(注) Performance manager データを移行する前に、Cisco DCNM 11.3(1) で Performance Manager が停止していることを確認します。アップグレードが完了したら、Performance Manager のデータ収集を開始する必要があります。



(注) Cisco DCNM 11.3(1) で新たに収集されたデータは、移行した Performance Manager 収集データに置換されます。

OVA/ISO 展開の場合、Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレードした後、SAN クライアントまたはデバイスマネージャを起動する前に証明書を更新する必要があります。証明書を更新するには、**appmgr afw update-cert-dcnm-client** コマンドを使用します。

古いリリースからの SAN Insights データ

古いリリースからの SAN Insights データは大きすぎるため、2 週間ごとに更新されます。SAN Insight データを新しい DCNM 11.3(1) OVA/ISO インストールに移行しないことをお勧めします。

ファブリックでパフォーマンスモニタリングを使用している場合は、この項の手順を使用して Performance Manager データを移行します。ただし、この手順では、Elasticsearch データベース内のすべての内容がコピーされます。したがって、この手順を実行する前に、次のコマンドを使用して DCNM にデータをストリーミングしている各スイッチの SAN Insights データを削除します。

```
<DCNM Install Location>\dcm\fm\bin\FMGeneric.bat com.cisco.dcbu.analytics.CleanupSanInsightES
<switchname_in_lowercase> <switch_ip_address>
```

```
C:\Program Files\CiscoDCNM\dcm\fm\bin\FMGeneric.bat
com.cisco.dcbu.analytics.CleanupSanInsightES mds9396t-174145 xxx.xx.xxx.xxx
```

ここでは、新しくインストールされた Cisco DCNM 11.3(1) アプライアンスに PM データを移行する手順について説明します。

スタンドアロン モードでの DCNM 仮想アプライアンスのインラインアップグレード

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNM アプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

スタンドアロン モードで DCNM 仮想アプライアンスをアップグレードするには、次の作業を実行します。



Note サーバで実行されている DCNM SAN クライアントと Device Manager のすべてのインスタンスを閉じていることを確認します。

Procedure

ステップ 1 Cisco DCNM アプライアンス コンソールにログインします。

Caution システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEM RESOURCE ERROR** が表示されます。コンソール/SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

- OVA のインストールの場合：ホスト用に展開された OVF テンプレートで、右クリックして [設定 (Settings)] > [Web コンソールの起動 (Launch Web Console)] を選択します。
- ISO のインストールの場合：KVM コンソールまたは UCS (ベア メタル) コンソールを選択します。

Caution SSHセッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

または

次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

ステップ 2 **appmgr backup** コマンドを使用してアプリケーションデータのバックアップを取得します。

Note SAN Insights 機能が設定されている場合は、この手順を実行しないでください。

```
dcnm# appmgr backup
```

DCNM サーバの外部にある安全な場所にバックアップ ファイルをコピーします。

ステップ 3 **su** コマンドを使用して、/root/ ディレクトリにログオンします。

```
dcnm# su
Enter password: <<enter-password>>
[root@dcnm]#
```

Note ISO をディレクトリにマウントする前に、/root/ フォルダーにアクセスできることを確認します。

ステップ 4 dcnm-va.11.5.1.iso.zip ファイルを解凍し、DCNM 11.5(1) ISO ファイルをアップグレードする DCNM セットアップ内の /root/ フォルダーにアップロードします。

ステップ 5 **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
[root@dcnm]# mkdir /mnt/iso
```

ステップ 6 /mnt/iso フォルダーのスタンドアロンセットアップに DCNM 11.5(1) ISO ファイルをマウントします。

mount -o loop <DCNM 11.5(1) image> /mnt/iso

```
[root@dcnm]# mount -o loop dcnm-va.11.5.1.iso /mnt/iso
```

ステップ 7 /mnt/iso/packaged-files/scripts/ に移動して **./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行します。

```
[root@dcnm]# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
dcnm# ./inline-upgrade.sh
Do you want to continue and perform the inline upgrade to 11.5(1)? [y/n]: y
```

Note Cisco DCNM リリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい sysadmin パスワードを入力するように求められます。

ステップ 8 プロンプトで新しい `sysadmin` ユーザー パスワードを入力します。

Note Cisco DCNM リリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい `sysadmin` パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH\root アクセスはデフォルトで無効になっています。 `sysadmin` ユーザーを使用します。

11.2(1) および 11.3(1) でサポートされている Elasticsearch バージョンは、11.5(1) でサポートされている Elasticsearch と互換性がないため、リリース 11.5(1) にアップグレードする前に Elasticsearch データのインデックスを再作成する必要があります。

次のメッセージが生成されます。

```
*****
WARNING: Elasticsearch indices for historical Performance Monitoring (PM)
data need to be reindexed manually.
Check DCNM installation and upgrade guide for more details.
*****
```

確認メッセージが表示されます。 `[y]` を入力して、アップグレードを続行してください。

アップグレードの完了後に、システムがリブートします。

ステップ 9 `appmgr status all` コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
[root@dcnm]# appmgr status all
```

ステップ 10 Cisco DCNM リリース 11.5(1) が正常にインストールされていることを確認するには、`appmgr show version` コマンドを使用します。

```
[root@dcnm]# appmgr show version
```

```
Cisco Data Center Network Manager
Version: 11.5(1)
Install mode: SAN Only
Standalone node. HA not enabled.
```

ステップ 11 `exit` コマンドを使用して、`screen` セッションを終了します。

```
[root@dcnm]# exit
```

ステップ 12 DCNM セットアップのすべての計算ノードから `dcnm-va-patch.11.5.1.iso` ファイルをアンマウントします。

Note `.iso` ファイルをマウント解除する前に、`screen` セッションを終了する必要があります。

```
[root@dcnm]# umount /mnt/iso
```

What to do next

適切なクレデンシャルを使用して DCNM Web UI にログオンします。



Note リリース11.3(1) では、sysadmin と root ユーザーのパスワードは同一ではありません。11.5(1) にアップグレードすると、sysadmin および root ユーザーのパスワードは保持されます。

ただし、アップグレード後にCisco DCNMでバックアップと復元を実行すると、sysadmin ユーザーはrootユーザーからパスワードを継承するため、両方のユーザーが同じパスワードを持ちます。復元が完了したら、両方のユーザーのパスワードを変更できます。

[設定 (Settings)] アイコンをクリックし、**[DCNM の詳細 (About DCNM)]** を選択します。展開したインストールタイプを表示して確認できます。

古いPMデータはElasticsearchに保持されます。Elasticsearchは、Cisco DCNM Web UI、**[ダッシュボード (Dashboard)]**、**[ヘルス (Health)]** と**[管理 (Administration)]**、**[DCNMサーバ (DCNM Server)]**、**[サーバステータス (Server Status)]**の順に選択すると、再インデックスが必要と表示されます。

リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

SAN Insights データを使用して Cisco DCNMサーバ11.3(1) をアップグレードすると、DCNM サーバ 11.4(1) の一部のデータが再処理されます。これにより、Cisco DCNM Web UI のいくつかの SAN Insights ページに表示される現在のデータに遅延が生じます。

10.4(x) SAN OVA/ISO/Windows から新しい DCNM 11.3(1) OVA/ISO への PM データ移行

リリース 10.4(1) OVA または 10.4(2) OVA では、パフォーマンス マネージャは RRD をデータベースとして使用してすべての raw データを保存します。Cisco DCNM は、RRD ファイルを柔軟なデータベースに移行するためのインライン移行プロセスを提供します。

10.4(1) または 10.4(2) OVA データを 11.3(1) OVA/ISO に移行するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 DCNM 10.4 (1) または 10.4(2) サーバを停止します。

- Windows の場合 : C:\Program Files\cisco それ Systems\dcn\dcnm\bin に移動します。StopLANSANServer.bat をダブルクリックして、サービスを停止します。
- Linux の場合 : /root へのログオンします。/root/Stop_DCNM_Servers コマンドを使用して、サービスを停止します。

ステップ 2 RRD ファイルが配置されている `/usr/local/cisco/dcm/fm/pm/db` に移動します。

RRD ファイルを安全な場所にコピーします。

Windows の場合：[RRD] ファイル フォルダを右クリックし、[コピー (Copy)] をクリックします。安全なディレクトリに内容を貼り付けます。

Linux：コピー `/usr/local/cisco/dcm/fm/pm/db/<<rrd_directory>>` を実行して、すべての RRD ファイルを安全なディレクトリにコピーします。

ステップ 3 新しくインストールされた DCNM 11.3 (1) SAN OVA\ISO サーバで、同じファブリックを検出します。

ステップ 4 ファブリック検出の後、[SAN 収集 (SAN Collections)] を有効にして、パフォーマンス マネージャの収集を開始します。

Cisco DCNM [Web UI] > [管理 (Administration)] > [DCNM サーバ (DCNM Server)] > [サーバステータス (Server Status)] > [パフォーマンス コレクタ (Performance Collector)] を選択します。
[ステータス (Status)] 列を確認します。

Cisco DCNM Web UI からパフォーマンス マネージャがデータを収集するために、DCNM サーバを 60 ~ 70 分許可します。

ステップ 5 `apmgr root-access permit` コマンドを使用して、DCNM サーバへの root アクセスを提供します。

ステップ 6 11.3(1) DCNM サーバで、`/usr/local/cisco/dcm/fm/pm/db/` ディレクトリに移動します。

古い DCNM からこのディレクトリに RRD ファイルをコピーします。

ステップ 7 `chmod -R 777` コマンドを使用して、すべての RRD ファイルに対する読み取りおよび書き込み権限を変更します。

ステップ 8 [管理 (Administration)] > [DCNM サーバ (DCNM Server)] > [サーバステータス (Server Status)] を選択します。

パフォーマンス コレクタ サービスを特定します。

ステップ 9 [アクション (Actions)] 列で、[サービスの停止 (Stop Service)] アイコンをクリックして、パフォーマンス コレクタ サービスを停止します。[サービスの再起動 (Re(Start) Service)] アイコンをクリックして、収集を開始します。

DCNM Server	Actions	Service Name	Status
10.106.177.26 10.106.177.36		Database Server	Running
localhost		Search Indexer	Last updated: 2019-12-02 22:30:00
localhost		Performance Collector	Running. Collecting 188 entities. 99% response in last hour. last DB update: 2019/12/02 22:57
10.106.177.158		Performance Collector	Running. Collecting 77 entities. 100% response in last hour. last DB update: 2019/12/02 22:57
10.106.177.152		SMI-S Agent	Running
10.106.177.152		Nexus Pipeline	Running
10.106.177.152		Elasticsearch	Running
10.106.177.152		SAN Insights	Running

RRD ファイルの量によっては、移行にかかる時間が長くなることがあります。データの移行後に、移行したすべての RRD ファイルが db_backup にコピーされます。Web UI から履歴データを表示できます。

11.1(1) および 11.2(1) 以降から 11.3(1) OVA/ISO の新規インストールへの PM データの移行



(注) Windows フェデレーションのデータをリリース 11.3(1) SAN OVA\ISO 展開を移行できません。

新規インストール 11.3(1) OVA では、同じファブリックを検出し、パフォーマンス マネージャを有効にします。古いデータを 11.3(1) にインポートするとき、データを 11.3(1) の既存のデータに置換します。

11.1(1) または 11.2(1) DCNM Windows パフォーマンス マネージャ データを 11.3(1) SAN OVA\ISO 展開に移行するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 古い DCNM バージョンで伸縮検索サービスを停止します。

Web UI で、[管理 (Administration)] > [DCNM サーバ (DCNM Server)] > [サーバステータス (Server Status)] を選択します。パフォーマンス マネージャの収集を停止します。

ステップ 2 \\DCNM_Install_Directory\dcm\elasticsearch\data\にあるパフォーマンス マネージャ収集ディレクトリ ファイルのバックアップを取得します。

すべてのファイルを圧縮し、ファイルを安全な場所に保存します。

(注) 圧縮したファイルには root フォルダとノードおよびデータが入ったすべてのサブフォルダが必要です。

```
[root@dcnm173 ~]# unzip -l nodes.zip
Archive:  nodes.zip
  Length      Date    Time    Name
-----
0          10-15-2019  04:34   nodes/
0          10-15-2019  04:34   nodes/0/
0          10-15-2019  04:34   nodes/0/indices/
0          10-15-2019  04:34   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/
0          10-15-2019  04:34   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/
0          10-15-2019  04:34   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/
615       10-15-2019  04:33   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/segments_11
0          10-10-2019  00:28   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/write.lock
82        10-15-2019  03:58   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/_lay.dii
.
.
.
...
```

```

2037 10-10-2019 00:28 nodes/0/indices/CMzGQjhtS-W3xyPoTlktnw/_state/state-13.st
0 10-10-2019 00:12 nodes/0/node.lock
0 10-15-2019 04:34 nodes/0/_state/
4668 10-10-2019 00:24 nodes/0/_state/global-7.st
71 10-10-2019 00:12 nodes/0/_state/node-0.st
-----
129921151 487 files
[root@dcnm173 ~]#

```

ステップ 3 11.3(1) DCNM サーバでは、**appmgr root-access permit** コマンドを使用して root アクセスを DCNM サーバに提供します。

ステップ 4 圧縮したファイルを新しくインストールした DCNM 11.3(1) SAN OVA/ISO サーバにコピーします。

(注) 圧縮したファイル コンテンツを安全なディレクトリにコピーできます。

ステップ 5 DCNM 11.3 (1) Windows SAN アプライアンスでパフォーマンス マネージャを停止します。

ステップ 6 **appmgr migrate-pm-es-data** コマンドを使用してパフォーマンス マネージャ データを移行します。

(注) 古いバージョンの DCNM パフォーマンス マネージャ データが移行された後、元の 11.3(1) パフォーマンス マネージャ データが消去されます。

```

dcnm11-3-1# appmgr migrate-pm-es-data nodes.zip
stop elasticsearch
Stopping AFW Applications...
Stopping AFW Server Processes
Stopping AFW Agent Processes
Stopped Application Framework...
Archive: nodes.zip
  creating: /var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXKfXaD9IIMbdw/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXKfXaD9IIMbdw/0/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXKfXaD9IIMbdw/0/index/
    inflating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXKfXaD9IIMbdw/0/index/segments_11
    extracting:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXKfXaD9IIMbdw/0/index/write.lock
    extracting:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXKfXaD9IIMbdw/0/index/_lay.dii
    inflating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXKfXaD9IIMbdw/0/index/_lay.dim
.
..
...

```

```

ending: inflating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/CmQjhtS-WGyPOTlkrw/_state/state-13.st
extracting:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/node.lock

creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/_state/
inflating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/_state/global-7.st
extracting:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/_state/node-0.st
Started AFW Server Processes
Started AFW Agent Processes
dcnm11-3-1#

```

データが移行されるまでおよそ 30 分間待ちます。

ステップ 7 `docker ps` コマンドを使用して伸縮検索のステータスを確認します。

```

dcnm11-3-1# docker ps
CONTAINER ID        IMAGE                                     COMMAND
CREATED           STATUS          PORTS          NAMES
8dfa2935cb0d      127.0.0.1:5000/afwapiproxy:2.0         "/bin/entry.sh"
20 seconds ago    Up 17 seconds  0.0.0.0:443->443/tcp   AfwApiProxy
6839a3d88cb4      127.0.0.1:5001/saninsightpost:1.0      "java -Xms1G -Xmx7..."
20 seconds ago    Up 17 seconds
saninsightpost_Cisco_afw.9hfm7g3g016y7as0f8e4e288m.qk3gw8a4wmlg7pg8k4rsx4qme
6bbdff07fc8a      127.0.0.1:5001/epltwo:2.0              "/bin/sh -c /usr/l..."
22 seconds ago    Up 19 seconds
epltwo_Cisco_afw.9hfm7g3g016y7as0f8e4e288m.0newc0fzplfrqt08i8xjdx5h
896336c7689a      127.0.0.1:5001/saninsightcol:1.0       "/bin/pipeline.sh "
23 seconds ago    Up 20 seconds
saninsightcol_Cisco_afw.9hfm7g3g016y7as0f8e4e288m.vzqkxe8owuf9y18icawns3abw
9bc609916781      127.0.0.1:5001/dcnmelastic:5.6.7_11.2.2 "/docker-entrypoin..."
25 seconds ago    Up 22 seconds  9200/tcp, 9300/tcp
elasticsearch_Cisco_afw.9hfm7g3g016y7as0f8e4e288m.owdosoyelrco3rr4790429zky
ee78966aef89      127.0.0.1:5000/registry:2              "/sbin/entry.sh"
26 seconds ago    Up 23 seconds
registry_cisco_afw.1.xwsd91ty6oajfp7ukfvw2iutd
cc635ab41796      registry:2                              "/sbin/entry.sh"
42 seconds ago    Up 40 seconds  AfwAppRegistry

```

ステップ 8 `apmgrp restart all` コマンドを使用して DCNM サーバを再起動します。

DCNM が安定し、新しいパフォーマンス マネージャ データに接続するまで 10 分待機します。

11.1(1) および 11.2(1) Linux 以降から 11.3(1) OVA/ISO の新規インストールへの PM データの移行



(注) Linux フェデレーションのデータをリリース 11.3(1) SAN OVA/ISO 展開を移行できません。

新規インストール 11.3(1) OVA では、同じファブリックを検出し、パフォーマンス マネージャを有効にします。古いデータを 11.3(1) にインポートするとき、データを 11.3(1) の既存のデータに置換します。

11.1(1) または 11.2(1) DCNM Linux パフォーマンス マネージャ データを 11.3(1) SAN OVA/ISO 展開に移行するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 古い DCNM バージョンで伸縮検索サービスを停止します。

Web UI で、[管理 (Administration)] > [DCNM サーバ (DCNM Server)] > [サーバ ステータス (Server Status)] を選択します。パフォーマンス マネージャの収集を停止します。

ステップ 2 \\DCNM_Install_Directory\dcm\elasticsearch\data\にあるパフォーマンス マネージャ収集ディレクトリ ファイルのバックアップを取得します。

すべてのファイルを圧縮し、ファイルを安全な場所に保存します。

(注) 圧縮したファイルには root フォルダとノードおよびデータが入ったすべてのサブフォルダが必要です。

```
[root@dcnm]# unzip -l nodes.zip
Archive:  nodes.zip
  Length      Date      Time     Name
-----
      0  10-15-2019  04:34   nodes/
      0  10-15-2019  04:34   nodes/0/
      0  10-15-2019  04:34   nodes/0/indices/
      0  10-15-2019  04:34   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/
      0  10-15-2019  04:34   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/
      0  10-15-2019  04:34   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/
    615  10-15-2019  04:33   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/segments_11
      0  10-10-2019  00:28   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/write.lock
     82  10-15-2019  03:58   nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/_lay.dii
      .
      ..
      ...
    2037  10-10-2019  00:28   nodes/0/indices/CMzGQjhtS-W3xyPoT1ktnw/_state/state-13.st
      0  10-10-2019  00:12   nodes/0/node.lock
      0  10-15-2019  04:34   nodes/0/_state/
    4668  10-10-2019  00:24   nodes/0/_state/global-7.st
      71  10-10-2019  00:12   nodes/0/_state/node-0.st
-----
129921151                               487 files
[root@dcnm]#
```

ステップ 3 `zip -r myPMData.zip ./` コマンドを使用して、すべてのファイルを圧縮し、ファイルを安全な場所に保存します。

(注) 圧縮したファイルには root フォルダとノードおよびデータが入ったすべてのサブフォルダが必要です。

```
[root@dcnm]# zip -r nodes.zip nodes
adding: nodes/ (stored 0%)
adding: nodes/0/ (stored 0%)
```

```

adding: nodes/0/indices/ (stored 0%)
adding: nodes/0/indices/CMzGQjhtS-W3xyPoT1ktnw/ (stored 0%)
adding: nodes/0/indices/CMzGQjhtS-W3xyPoT1ktnw/3/ (stored 0%)
adding: nodes/0/indices/CMzGQjhtS-W3xyPoT1ktnw/3/index/ (stored 0%)
adding: nodes/0/indices/CMzGQjhtS-W3xyPoT1ktnw/3/index/_114o.fdx (deflated 2%)
adding: nodes/0/indices/CMzGQjhtS-W3xyPoT1ktnw/3/index/_1bsm.fnm (deflated 87%)
adding: nodes/0/indices/CMzGQjhtS-W3xyPoT1ktnw/3/index/_1cs1.si (deflated 23%)
adding: nodes/0/indices/CMzGQjhtS-W3xyPoT1ktnw/3/index/_1bsm.si (deflated 38%)
.
.
...
adding: nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/2/_state/ (stored 0%)
adding: nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/2/_state/state-0.st (deflated 5%)
adding: nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/_state/ (stored 0%)
adding: nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/_state/state-3.st (deflated 9%)
adding: nodes/0/node.lock (stored 0%)
adding: nodes/0/_state/ (stored 0%)
adding: nodes/0/_state/global-7.st (deflated 72%)
adding: nodes/0/_state/node-0.st (deflated 7%)
[root@dcnm]#

```

ステップ 4 11.3(1) DCNM サーバでは、**appmgr root-access permit** コマンドを使用して root アクセスを DCNM サーバに提供します。

ステップ 5 圧縮したファイルを新しくインストールした DCNM 11.3(1) SAN OVA/ISO サーバにコピーします。

(注) 圧縮したファイル コンテンツを安全なディレクトリにコピーできます。

ステップ 6 DCNM 11.3 (1) Linux SAN アプライアンスでパフォーマンス マネージャを停止します。

ステップ 7 **appmgr migrate-pm-es-data** コマンドを使用してパフォーマンス マネージャ データを移行します。

(注) 古いバージョンの DCNM パフォーマンス マネージャ データが移行された後、元の 11.3(1) パフォーマンス マネージャ データが消去されます。

```

dcnm11-3-1# appmgr migrate-pm-es-data nodes.zip
stop elasticsearch
Stopping AFW Applications...
Stopping AFW Server Processes
Stopping AFW Agent Processes
Stopped Application Framework...
Archive: nodes.zip
  creating: /var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/
    creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/
    inflating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72Xv0SXXfXaD9IDMbdw/0/index/segments_11

```

```

extracting:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72x0SxkFXaD9IDMbdw/0/index/write.lock

extracting:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72x0SxkFXaD9IDMbdw/0/index/_lay.dii

inflating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/5AJ72x0SxkFXaD9IDMbdw/0/index/_lay.dim

.
..
...
ending: inflating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/indices/0vzQjhtS-WGxyPo1lktw/_state/state-13.st
extracting:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/node.lock

creating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/_state/
inflating:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/_state/global-7.st
extracting:
/var/afw/vols/data/elasticsearch_Cisco_afw/usr/share/elasticsearch/data/nodes/0/_state/node-0.st
Started AFW Server Processes
Started AFW Agent Processes
dcnm11-3-1#

```

データが移行されるまでおよそ 30 分間待ちます。

ステップ 8 `docker ps` コマンドを使用して伸縮検索のステータスを確認します。

```

dcnm11-3-1# docker ps
CONTAINER ID        IMAGE                                     COMMAND
CREATED           STATUS          PORTS          NAMES
8dfa2935cb0d      127.0.0.1:5000/afwapiproxy:2.0        "/bin/entry.sh"
20 seconds ago    Up 17 seconds  0.0.0.0:443->443/tcp    AfwApiProxy
6839a3d88cb4      127.0.0.1:5001/saninsightpost:1.0     "java -Xms1G -Xmx7..."
20 seconds ago    Up 17 seconds
saninsightpost_Cisco_afw.9hfm7g3g016y7as0f8e4e288m.qk3gw8a4wmlg7pg8k4rsx4qme
6bbdff07fc8a      127.0.0.1:5001/epltwo:2.0             "/bin/sh -c /usr/l..."
22 seconds ago    Up 19 seconds
epltwo_Cisco_afw.9hfm7g3g016y7as0f8e4e288m.0newc0fzplfrqt08i8xjjdx5h
896336c7689a      127.0.0.1:5001/saninsightcol:1.0      "/bin/pipeline.sh "
23 seconds ago    Up 20 seconds
saninsightcol_Cisco_afw.9hfm7g3g016y7as0f8e4e288m.vzqkxe8owuf9y18icawns3abw
9bc609916781      127.0.0.1:5001/dcnmelastic:5.6.7_11.2.2  "/docker-entrypoin..."
25 seconds ago    Up 22 seconds  9200/tcp, 9300/tcp
elasticsearch_Cisco_afw.9hfm7g3g016y7as0f8e4e288m.owdosoyelrco3rr4790429zky
ee78966aef89      127.0.0.1:5000/registry:2            "/sbin/entry.sh"
26 seconds ago    Up 23 seconds
registry_cisco_afw.1.xwsd91ty6oajfp7ukfvw2iutd
cc635ab41796      registry:2                            "/sbin/entry.sh"
42 seconds ago    Up 40 seconds  AfwAppRegistry

```

ステップ 9 `apmgr restart all` コマンドを使用して DCNM サーバを再起動します。

DCNM が安定し、新しいパフォーマンス マネージャ データに接続するまで 10 分待機します。

パフォーマンス マネージャ データをドロップする



Note リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

Performance Manager (PM) データをドロップするには、次の手順を実行します。

Before you begin

- DCNM アプライアンスが動作していることを確認します。（スタンドアロンのアップグレード向け）
- フェデレーションを設定している場合は、DCNM フェデレーション設定のすべてのノードが動作していることを確認します。（フェデレーションセットアップ向け）

Procedure

ステップ 1 SSH セッションを起動し、次のコマンドを実行して PMDB インデックスを表示します。

Performance Manager データベースの PMDB インデックスを特定します。

次に例を示します。

```
dcnm-root-11-4# curl http://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb

% Total    % Received % Xferd  Average Speed   Time    Time     Time  Current
           Dload  Upload   Total     Spent    Left  Speed
100 2448 100 2448    0     0  4523      0 --:--:-- --:--:-- --:--:-- 4524
green open pmdb_cpumemdata          rb-CJf-NR0my8M3mO-7QkA 5 1  7286    0
  1.4mb 760.2kb
green open pmdb_ethintfratedata      P18gMKdPTkCODv0TomYAdw 5 1  9283    0
  2.4mb  1.2mb
```

「pmdb_」というプレフィックスが付いたインデックスが表示されます。

ステップ 2 Cisco DCNM Web UI で、[管理 (Administration)] > [パフォーマンスの設定 (Performance Setup)] > [LAN コレクション (LAN Collection)] を選択します。

すべてのスイッチとコレクションを無効にするには、すべてのチェックボックスをオフにし、[適用 (Apply)] をクリックします。

Administration / Performance Setup / LAN Collections

For all selected licensed LAN Switches collect: Trunks Access Errors & Discards Temperature Sensor

Performance Default Polling Interval 5 Mins

- Fab-1-externalfab
 - 9k_aragon
 - C93108TC-FX_116
 - C93108TC-FX_41
 - n3k_72
 - N77-TGEN-195
 - N9k_27
 - N9K-C9232C_28
 - N9K-C9364C_49
 - N9K-C9504_44
 - sugarbowl_56
 - suharbowl_57
- Fab-2-ClassicLAN
 - N3k_Utopia_70
 - switch
- Fab3-otherswitches
 - IND13-P1-A1
 - N6K-96Q-63
- test
- Default_LAN

ステップ 3 [管理 (Administration)] > [DCNM サーバ (DCNM Server)] > [サーバステータス (Server Status)] を選択します。

ステップ 4 **Performance Collector** サービスに対して、[アクション (Actions)] 列の停止アイコンをクリックして、データ収集を停止します。

DCNM Server	Actions	Service Name	Status
localhost		Database Server	Running
10.106.228.37		Re-init Elasticsearch DB Schema dexter	Last updated: 2020-12-13 16:30:00
10.106.228.37		Performance Collector	Stopped
10.106.228.37		Agent	Running
10.106.228.37		Elasticsearch	Status:yellow, Docs: pmdb_*=0
0.0.0.0:123		NTPD Server	Running
0.0.0.0:67		DHCP Server	Running
0.0.0.0:2162		SNMP Traps	Running
0.0.0.0:514		Syslog Server	Running

ステップ 5 削除アイコンをクリックして、Performance Manager データベースを消去します。

このアクションにより、Performance Manager データベース内の古いエントリが削除されます。

ステップ 6 [再初期化 (reinitialize)] アイコンをクリックして、Elasticsearch データベーススキーマのインデックスを再作成します。

この操作は、Elasticsearch データベースの Performance Manager データを消去し、Performance Manager を再起動します。完了するまで数分かかる場合があります。

ステップ 7 [Continue] をクリックします。

Performance Collector サービスのステータスが [停止 (Stopped)] と表示されます。

ステップ 8 次のコマンドを使用して、すべての PMDB エントリを削除したことを確認します。

- リリース 11.1(1) からのアップグレード用

```
curl https://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb
```

- リリース 11.2 (1) からのアップグレード

```
curl https://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb
```

- リリース 11.3 (1) からのアップグレード用

```
curl http://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb
```

- リリース 11.4(1) からのアップグレード用

```
curl http://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb
```

次に例を示します。

```
dcnm-root-11-4# curl http://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb

% Total    % Received % Xferd  Average Speed   Time    Time     Time  Current
           %         0      0     3638    0  --:--:--  --:--:--  --:--:-- 3636
```

ステップ 9 DCNM のリリース 11.5(1) へのアップグレードに進みます。

パフォーマンス マネージャ データをドロップする

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。